

●演習ワークシート

演習日： 月 日

研修生番号：

研修生氏名：

事例 1

症例：50 歳，女性

主訴：発熱，咳

3 日前より，38℃を超える発熱と喀痰伴う咳があり，救急外来を受診した。

生活歴：機会飲酒，喫煙 20 本を 30 年，旅行歴・温泉歴なし，特殊な暴露歴なし。

来院時バイタルサイン

GCS	血圧	体温	心拍数	呼吸数	SpO ₂
E4V5M6	118/72mmHg	38.2℃	心拍数 110 回/分	22 回/分	94%

身体所見：右下肺野背側にヤギ音あり。

演習課題 1

事例 1 について，次の質問に回答してください。

1) 鑑別診断を挙げてください。

2) 行うべき検査を挙げてください。

3) 重症度を評価してください。

4) 治療薬を選択してください。

●演習ワークシート

事例 2

症例：86 歳，男性

発熱と咳，膿性痰の増加で受診。肺炎の診断となり入院加療となった。市中肺炎と考え，セフトリアキソンを開始。3 日後も解熱せずに呼吸状態が悪化し，人工呼吸管理となった。喀痰より緑膿菌が検出した。

既往歴：1 か月前に COPD 増悪，3 か月前に胆嚢炎

演習課題 2

事例 2 について，次の質問に回答してください。

- 1) 特定行為終了看護師が，この患者への抗菌薬の投与を検討してもよいでしょうか。

